

トピック(テーマ)	菅江真澄と『伊那のなかみち』		
ねらい	『伊那のなかみち』は天明3年(1783)2月に故郷三河を出発して信濃に入った菅江真澄が、信濃の街道附近、滞留先等で巡遊した旅日記である。真澄は以後数十冊に及ぶ旅日記を残すが、その最初に書かれたものとして貴重である。		
キーワード	三河 信濃 飯田城下 三州街道 塩尻市洗馬 洞月(どうげつ)上人 可児(かに)永通 手習師匠 旅日記 白井秀雄 国学 地誌 医学 本草学 『伊那のなかみち』『わがこころ』『すわの海』『くめじ橋』『ひなのひとふし』		
概要を知るためのツール	1	書名	菅江真澄 (人物叢書 新装版)
		著者名	菊池勇夫／著
		出版社	吉川弘文館
		出版年	2000.7
		内容紹介	信越・奥羽・蝦夷地の各地を巡歴し、当時の北日本の庶民生活を知る上で貴重な資料となる、和歌・日記・地誌・随筆・図絵を大量に残した、江戸後期の歌人・国学人の菅江真澄。その旅に明け暮れた生涯を描く。
資料リスト	1	書名	伊那の中路・わがこころ
		著者名	菅江真澄／著
		出版社	真澄遊覧記刊行会
		出版年	1929
		内容紹介	
	2	書名	菅江真澄が見た日本
		著者名	石井正巳／編
		出版社	三弥井書店
		出版年	2018.8
	3	書名	現代口語訳 信濃の古典を読み物叢書 第6巻
		著者名	信州大学教育学部附属長野中学校創立記念事業編集委員会／編集
		出版社	信濃教育会出版部
		出版年	1990.6
	4	書名	委寧能中路. わがこころ. すわの海. 来目路濃橋の口語訳版
		著者名	菅江真澄の旅と和歌伝承
		著者名	佐伯和香子／著
出版社		岩田書院	
4	出版年	2009.2	
	内容紹介	菅江真澄はなぜ旅に出たのか、その旅の目的は何だったのか。真澄の日記における和歌および説話を中心にその執筆姿勢を検討する	

	5	書名	なぜ和歌(うた)を詠むのか
		著者名	錦仁／著
		出版社	笠間書院
		出版年	2011.3
		内容紹介	江戸後期、信越・東北・北海道などを歩き、数多くの旅日記や地誌を記した菅江真澄の「和歌」「地誌」に注目し、日本人にとって和歌とは何かを根源的に問う。
		6	書名
著者名			宮田 登／著
出版社			吉川弘文館
出版年			2007.4
内容紹介			菅江真澄、柳田國男、折口信夫など、民俗学の大先達たちへの共感を語る。
インターネット	1	サイト名	レファレンス協同データベース
		URL	<a href="https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&amp;id=1000162007">https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&amp;id=1000162007</a>
		概要	レファレンス事例を掲載している
	2	サイト名	国会図書館サーチ
		URL	<a href="https://iss.ndl.go.jp/">https://iss.ndl.go.jp/</a>
		概要	「菅江真澄」に関連する図書、記事論文などを探することができる
新聞	1	見出し	菅江真澄の資料館、秋田に 長興寺住職が招待
		発行機関	朝刊20ページ
		年月日	1996.4.23
	2	見出し	塩尻市、史跡「釜井庵」を修復
		発行機関	朝刊22ページ
		年月日	1996.4.27
	3	見出し	今日の視角 菅江真澄と信州
		発行機関	信濃毎日新聞 夕刊1ページ
		年月日	1998.10.20